

2026年3月18日

報道関係各位

株式会社カネカ
広報 (Public Relations) 部

さいたま市とタンデム型ペロブスカイト太陽電池の屋外実証事業を開始

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）は、さいたま市（市長：清水 勇人）と、「次世代型太陽電池の実証事業に関する連携協定」（※1）を締結しました。

本事業では、同市本庁舎敷地内にて、公共施設として国内初となるタンデム型ペロブスカイト太陽電池の屋外実証実験を実施します。本事業は、2026年3月18日から2027年3月26日まで実施する予定です。

この度実証実験を行うタンデム型ペロブスカイト太陽電池は、当社が生産するヘテロ接合型結晶シリコン太陽電池の上にペロブスカイト太陽電池を積層し、それぞれが異なる波長の光を吸収することで、従来よりも高い変換効率と高耐久性を実現する次世代型太陽電池です。

本事業では、タンデム型ペロブスカイト太陽電池モジュール2枚（※2）を屋外に設置し、発電性能および耐久性の実証実験を行います。また、発電した電力は蓄電池に充電し、独立電源システムとして非常時の電力供給に活用します。

本実証実験で得られた知見を活用することで社会実装に向けた検討を加速し、2028年度にはタンデム型ペロブスカイト太陽電池の製品販売を開始する予定です。

当社は「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First” .」という考えのもと、すべての人が自然の恵みを享受し、クリーンで持続可能な資源およびエネルギーを利用できる社会の実現を目指しています。今後も、太陽電池をはじめとする環境配慮型製品を活用したトータルエネルギーソリューションの提供を通じて、地域社会への貢献を続けてまいります。

以上

（※1）本協定に基づき、さいたま市および当社は、次世代太陽電池の実証事業をはじめ、その普及促進や脱炭素化に向けた取り組みについて、相互に連携・協力する。

（※2）1枚あたり約995mm×約1085mmサイズのパネルを使用。



タンデム型ペロブスカイト太陽電池
モジュール



タンデム型ペロブスカイト太陽電池実証事業
お披露目式の様子
さいたま市長 清水 勇人様 (左)
株式会社カネカ 代表取締役会長 菅原 公一 (右)